新しい緑化植物のコンテナ生産技術の開発

【研究概要】

民間企業による都市の再開発やリノベーションによる緑化に一定の需要がある中、枝葉のボリュームに優れるなどの品質の高いものが求められている。そこで、品質の高いコンテナ生産に向けて効率的な栽培管理方法を検討し、新しい生産技術を開発する。また、この技術を活用し生産した高品質な大型コンテナ緑化植物の商品性を評価することを目的に試験を実施した。

（1）コンテナに防草資材を利用することで、除草時間を14～30%に削減することができた。また、資材の種類によって用土の乾きやすさに差が生じた。栽培する樹種により防草資材との組合せで生育に差が生じることや、枯損や枯死が発生する可能性があるので、組合せの検討や適切な灌水管理を行うことが望ましい。

（2）ピートモスをコンテナ用土に混和することで、コンテナ用土のpHが低下した。今回の試験では処理区間で生育に差はなく、生理障害の発生もほとんどなかった。